

平成23年度 市民が市民(納税者等)が選ぶ市民活動団体支援制度 (1%支援制度)についての市民活動団体アンケート結果

※8月26日現在： 回収／配布 ＝ 121団体(内、法人格18団体)／280団体 (回収率:43.2%)

* 本アンケートは、「いちかわボランティア・NPO Web」に登録の市民活動団体にお送りしています。

問	回 答	集計	%
問1.	1%支援制度は今年で7年目を迎えました。1%支援制度について、現在、どのように感じていますか。	118	100%
	1. 良い制度であり、現在の内容を変えずに続けるべきである(問3へ)	22	19%
	2. 改善すべき点は改善して、よりよい制度にしていくべきである(問2へ)	92	78%
	3. 良い制度とはいえないので、やめるべきである(問3へ)	2	2%
	4. よくわからない(問3へ)	2	2%
問2.	問1で「2」を選んだ方に、お尋ねします。改善すべき点として考えられるものを2つ選んでください。	186	100%
	1. 審査会での基準を見直し、もっと団体を厳選したほうがよい	26	14%
	2. 分野ごとに支援対象団体数の上限を設けたほうがよい	2	1%
	3. 支援額に上限を設けたほうがよい	21	11%
	4. 毎年度、同じ事業提案は受け付けるべきではない	5	3%
	5. 市民が選択届出する際、3団体は多すぎる	12	6%
	6. 希望支援額に届かなかった団体に対し、救済措置を設けたほうがよい	17	9%
	7. 団体番号を固定化したほうがよい	30	16%
	8. 市民に対し、もっとPRができる場があったほうがよい	32	17%
	9. 届出方法を簡素化すべき	26	14%
	10. その他(具体的に: 1 ★団体構成メンバーが男性の多いところ(例:少年野球)は、いつも多額を集められると思うと、全ての団体に基礎票みたいなものがあると良い。 2 ★1%を3~5%に増やすと更に定着すると考える 3 ★事業内容により繰越金を認めて欲しい 4 ★ボランティア等内容を限定して行うべきである。 5 ★マンネリ化を防ぐためにも、同一事業のエントリーには期限(3~5年)を設けた方がよい。 6 ★経費の2分の1の枠をなくして欲しい。 7 ★広報活動をもっと市民団体に任せ、もっと市民へアピールできる方法を市民団体と一緒に考えていってほしいと思う。 8 ★市民税決定通知書に1%支援制度を記載する 9 ★PR活動は、少々大変だと感じるので、具体的な改善策はありませんが、良い方法が無いものかと感じます。 10 ★投票用紙は切り取りを止めて、全部プライバシー保護用ハガキとして、公報特別号へミシン入り2連または3連のハガキを挿んで配布し、又、各グループに100枚位渡します。PR用カラー印刷の本2種類は、公報特別号の充実で、もう廃止でよいのではないのでしょうか。 11 ★高齢者が多い団体を考慮願いたい。 12 ★1%支援のPRを通年を通して実行 又、1%支援の事業開催の折には1%支援制度の説明を義務付ける。 13 ★事業終了後に支援団体の選択届出をする方がよい。どのような事業なのか見てもらってから届出を! 14 ★7年目で行政側にも問題点・課題が見えてきたと思いますので、その点を教えて欲しい。PR資料にお金をかけ過ぎ! 15 ★地域ポイントの満点の換算を動植物園等入場料と同額にすべき	15	8%

問3.	1%支援制度では、市民活動団体支援基金への積み立てを選択することもできます。この基金から、これまで団体が利用できる機材（マイク、パソコン、プロジェクタ等）の購入等に充ててきました。この基金を今後どのように使うべきだと思いますか。1つ選んでください。	121	100%
	1. 1%支援制度や市民活動のPRに使うべき	23	19%
	2. 市民活動団体への人材育成や貸し出し用備品の購入など、共通する支援に使うべき	37	31%
	3. 市民活動団体への融資制度など、新たな資金的支援策に使うべき	6	5%
	4. 1%支援制度での支援の少ない団体へ補填をすべき	22	18%
	5. 1%支援制度の財源として確保しておくべき	17	14%
	6. 基金は廃止すべき	4	3%
	7. わからない	6	5%
	8. その他（具体的に	6	5%
	1 ★印刷機を高性能の機種にする。チラシ印刷に使用しているが、印刷面が荒く、濃度も悪く、せっかく安価で利用しても残念ながらチラシになってしまう。		
2 ★届出結果額が団体の申請額を越えると機械的に基金に投入されていく現行を変え、当該団体の計画としてオーバー分を活用できる承諾がある場合は、承諾額を申請額に上乘せし、有効活用していく。その団体への心遣いの額なのだから。			
3 ★障害者支援団体などは事業費の半額でなく全額支援でも良いのではないのでしょうか。問2の設問自体に、ちょっと疑問が？ 否定的な感じがしますが？			
4 ★市民活動を育てるための人材育成などの講座の開催などに使われたらいいと思う。			
5 ★支援団体の内容を精査し、本当に必要なところへ使って欲しい。			
6 ★バスを買ってください。高齢者の移動用にありがたい。抽選で当たらないのです。			
問4.	今年は東日本大震災の影響で支援対象団体の事業内容や1%支援制度をPRする場が例年より減ったことについて、どのように感じていますか。	122	100%
	1. PRする場が減って、支援金を集めることが困難であった	7	6%
	2. 例年通りPRすべきであった	18	15%
	3. PRする場が減るのは、今年は仕方がない	61	50%
	4. 特に影響はなかった	29	24%
	5. わからない	7	6%
問5.	NPO法人等に対する寄付金控除が拡大される動きがありますが、具体的な内容を知っていますか。	121	100%
	1. 知っている	21	17%
	2. しらない	100	83%
問6.	貴団体では、1%支援制度以外の寄付金を受けていますか。受けているとすれば、その件数・金額を支障のない範囲内でお答え下さい。	120	100%
	1. 受けている（件数 150件、金額 6,574,151円）	39	33%
	2. 受けていない	81	68%
問7.	現在、ボランティア・NPO活動センターの会議スペースの貸出しについて、「予約制」を検討していますが、どのように思いますか。	118	100%
	1. 予約制は必要ない	20	17%
	2. 予約制は便利だと思う	45	38%
	3. 予約制はぜひ導入すべき	23	19%
	4. わからない	30	25%

問8.	ボランティア活動センターにメールボックスを設置していますが、設置している方はどのくらい利用していますか。	117	100%
	1. よく利用している	1	1%
	2. ときどき利用している	4	3%
	3. あまり利用していない	12	10%
	4. 全く利用していない	44	38%
	5. わからない	5	4%
	6. 設置していない	51	44%
問9.	1%支援制度について、その他具体的な意見・改善案などがありましたら、ご記入ください。	72	
1	★手続きのための書類が多すぎる。毎年、同じような内容を書かされている。年配者ばかりの団体のほうから「どうにかならないか」との声を聞いている。		
2	★「申請・PR・支払いの時期について」当団体では、4月～翌3月が会計年度のため、現行制度を利用する場合、助成額が未知数のまま、予算・事業計画をたてなくてはならず、具体的には計画しにくくなっている。他の団体(社協など)の助成制度にもあるように、次年度に向けて(2・3月とか)支援金を決定・支払い額が分かれば、活動しやすくなると思う。市民活動団体に1%制度が定着してきているようなので、翌年の活動に関しての計画がより明確になると思う。		
3	★この制度は一般補助金と異なり、税務署の用途が示されているものであります。したがって事業目的が行政と乖離しない限り単年度決算(使いきり)でなく繰越を認めるべきである。行政としてもやって欲しい事業が2倍に生かせる制度でありより推進したいものです。		
4	★社協と両方なので同じような書類をいくつも送る事がありちょっと大変です。		
5	★提出書類の送付をメール等、電子媒体でやり取り出来るよう、ご検討いただけませんか。		
6	★郵送される資料や案内を全てインターネット利用できませんか。提出書類を電子化していただくと大変助かります。		
7	★支援申請の手続きはもっと簡略し、支援金額の上限を設けると共に幅広く支援し、市全体の活性化に繋がるように利用できればと思います。		
8	★ファックス送信を前提としているが、ファックスの無い団体もある事を考慮して欲しい。		
9	★良い制度と思うが届出をするのが面倒でなかなか届出人数の確保が大変であるので届出方法の改善ができれば嬉しいです。		
10	★私たちは月1回江戸川堤防のゴミ拾いとゴミの持ち帰り呼びかけ運動を行っています。労力以外は、持ち帰り呼びかけ文のコピー代のみのため、1%支援制度の面倒な書類を書いて本制度を利用しても得るところがありません。よって今後も制度は利用せず会費で、自分達の力で継続していきたいと考えています。		
11	★組織的な団体が、メンバー分の申請を取りまとめ、自分だけ違う団体に投票するわけにいかなくて困るという話を聞いたことがあるので、あくまでも、個人で申請するようにして、団体の取りまとめを止めたほうが良いのではないのでしょうか。(個人情報問題もあるのでは)		
12	★届出を簡素化して欲しい。審査も簡素化して欲しい。誰でもが参加できることに誇りをもてるような制度を望む		
13	★問2にも書いたが、支援を受ける形としては、行った実績に対する評価として事業の終了後に行うべきだと思います。書類やPRだけでの評価はありえないし、団体によって事業前と事業後の届出に分かれるのは不公平だと思います。また、届出期間が短すぎると思います。		
14	★1%支援制度の提出の簡素化。1%支援制度の認知度がまだまだ低いと思われるのでPR活動の可能なイベントにおいては説明をするパンフレット等あればよい(年間を通じて)		
15	★本制度発足当社から参加しています。良い制度だと思いますが、1%では、金額が大したことが無く、費用対効果が今一です。3~5%位に上げると、宣伝活動の費用対効果も良くなり、市民の参加率も上がると考えます。		

16	★決定額を一覧して、高齢者福祉関係(私のようなサロン)には、支援金が大体1/3~1/2位にとどまっていると思う。原因としては、高齢者本人の所得が低く、又、届出する場所へ、手続き、記入等面倒になる。同居も独居が多く、子ども達に頼むのを遠慮するようになった。基金ばかりでなく、必要を認めるところには援助して欲しい。		
17	★1%支援が毎月定期的に小額でも良いので寄付が入ると運営費として助かるという思いがあります。応援して下さる市民の方々が一年間毎月同じ団体に支援し、その方々には運営報告をする会報を送って状況を把握していただくというのは如何でしょうか。		
18	★1. 仕事の現役世代の親子さんを対象としたボランティアに比べ、老人福祉施設等へのボランティアをメインにしている団体は1%支援の総量額が集まらない。2. ボランティア回数を多く実施してもその貢献に見合った1%支援が得られない団体に対して貢献度に応じた補填を考えるべきと思う。		
19	★基金をその各団体が有効利用できるよう、その団体に還元して欲しい。1%支援ということ(納税した税金)、支援方法等、市川市からのお知らせとして市民に行き渡るようPRして欲しい。		
20	★私どもは組織的に届出を多く得られますが、障害者支援団体など支援の受益者が少ない団体は支援金も少ない。(私たちは支援の受益者が自ら参加する団体に届出している) 行政に代わって頑張っている団体に支援が増えるような仕組みがあればと感じます。		
21	★活動内容を重視して支援金額を決定していただきたい。予算書が確定しにくいため。		
22	★少ない予算で運動を展開していますので市から直接援助を受けられることに感謝しています。これからもこの制度を通じ自然食や自然農法による健康の活動を知ってもらおうよう努力して参ります。		
23	★団体の規模で、ある程度の支援金額が決まってしまうので、少人数で活動している団体に支援金が集まりやすいように加算金等も考えてよいのではないのでしょうか。		
24	★今回、支援金希望額には届きませんでした。それでも支援金を使わせていただけることは大変ありがたく思っています。今後、個人負担金は増えると思いますが、活動は楽しく充実して行っています。活動内容が広く正しく理解していただけることを希望します。1%支援で、新しいボランティアが参加して下さったことが嬉しいです。		
25	★2分の1を支援していただいておりますが、残りの寄付を集めるのが大変です。支援金内または少しオーバーすれば良い制度にして欲しい。		
26	★来年は大幅な見直しが検討されているとのこと。問3-8に記入したことが実現すると良いと思う。		
27	★2%にして欲しい、or. 基金を利用して欲しい。		
28	★1%支援制度の認知度アップのために。★最近、地方で町のアピールする工夫を真似て、1%のキャラクターを使い、制度への興味を持ってもらう。例えば、公報を活用し、4コマ漫画やイラストを使い、街頭チラシ配布前に事前に知らせ、誰もがわかりやすい1%支援制度となるように、そして投票につなげて生きたい。★どんなに頑張って該当チラシを配っても制度を理解されて受け取ってもらえている手ごたえが薄く毎回残念です。折角の素晴らしい制度です。他市の人からは全国でも珍しい市川市のこの制度をうらやましがられます。チラシを手渡したとき、「ああ、！%支援ね！」と答えて頂ける日を待ち望みます。		
29	★PRについて、昨年と同様ではないPRの方法を考えても良かった。被災地ではNPOやボランティア団体の活動が多く報道された。この機会にNPOやボランティアのあり方を考えた方も多いのではないか。その活動資金として1%制度を考える良い機会だったと思う。支援制度について、各団体の支援事業の説明やPRが、毎年同じようで、少しマンネリ気味です。経費を抑えながら効果の上がる方法にもう少し知恵を絞ったらいかがでしょう。今度の震災のときも、従来の高齢者や子育て支援においてもボランティアグループやNPO活動のニーズは高まっています。大変だろうとは思いますが知恵を出し合って1%支援制度が支出する者も受け取る者も納得のいくより良いものに創り上げる努力を積み重ねていきたいと思います。		
30	★制度の存在を市民が関心を持つ方法をもう少し検討するべきではないか。例えばマナーPRの様な方法をとっても良いのではないか。		
31	★市広報の掲載規定(年2回までなど)を1%支援団体に緩和して欲しい。		

32	★今年初めての参加でしたが、まだまだ市民に知られていないと思いました。納税する段階でアンケートを入れるなど、税と密着させないと無理かなと思います。(これも難しいかな)		
33	★1. 市民が選ぶ”日本初のボランティア活動支援制度”として、NPO団体等には定着している。一方、市民にボランティア活動を理解してもらうためのPR方法には一工夫必要。2. 制度のマンネリ化を防ぐため、年度によってはテーマを決める(例えば、ガーデニングシティいちかわ)等の工夫も必要。		
34	★良い制度なので初めての人にはやり方が分からない、理解できないので、やりやすいPR説明をもっと考えて欲しい。わが会は若い母親ばかりなので伝えるのが難しい。		
35	★問2の10にも記載したが、1%支援制度については、まだまだ浸透度が低いと思われます。そこで市民税決定通知書に1%支援制度の概要を記載して全納税者の目にふれるようにしていただきたいと思います。		
36	★インターネットによる申込(参加)が出来る認知度が低いと思われます。		
37	★届出の延べ人数が11000人では、少ないと思います。市民活動への関心度を高めるための地域との密着が必要だと思います。		
38	★1%支援制度をもっとPRして欲しい。個人の納めた税金内の1%か、その他の税金の利用かを、もっと分かりやすく案内して欲しい。		
39	★以前あった全団体のPR放送(ケーブルTV)は、復活した方が有効だと思います。		
40	★市民の殆んどの人が支援制度に参加していないので、もっとPR活動や届出方法を簡素化すべきである。		
41	★折角始めた支援制度であるのに、市の職員でも関心の無い人が多いように見えるし、制度を熟知している市民があまりに少ないと思う。これからの共助のときに良い制度として浸透して欲しい。		
42	★1%支援制度の結果、市民の求めているものが良くわかるはずですが、それをすぐ行政に反映させることが役人の仕事です。良い制度だと思うのに知らない人が多すぎます。		
43	★制度そのものが市民に周知されていない(もちろん納税等で説明されていますが)あるいは理解されていないのではないかと心配があります。		
44	★支援基金が各団体に1%支援制度のマークの入ったジャンパーを作って宣伝の折や市民まつり等で着用してはどうか。		
45	★一般市民の知る機会が少ないように思います。良い制度なので、もっと知ってもらいたいと思います。		
46	★行徳も市川です。PRの場所を。		
47	★参加している団体は関心を持って取り組んでいると思いますが、一般市民がどれだけの関心を持って参加しているのか一般の方々にお聞きしてはいかがでしょうか。		
48	★大変良い制度ですが、政治活動をする団体には特に注意し厳しく当たるべきと思います。制度を良くするためにも(外部からの批判をさけるためにも)		
49	★団体紹介の冊子がたくさん余ります。もったいないので、支所や公民館などでの供覧でも良いのではないかと。支援額の少ない団体でも魅力ある活動をされている所は、再度、審査会ですくい上げるような柔軟な制度であると良いと思います。		
50	★小さな規模の活動グループとしては、大変ありがたい制度だと思います。継続して欲しいと思います。		
51	★審査基準がゆるすぎる気がする。多くの団体が参加してほしいのは分かるが、落ちる団体が殆んど無いというのはどうか?ほんとに必要とする団体がまだ隠れているような気もするし、垂れ流しみたいなのは、どうでしょうか。		
52	★支援されている団体は、殆んど市川氏の公益とは関係の無い活動をしている。すなわち、趣味の団体になぜ税金である資金を与えているのか理解できない。今後ともこの1%支援制度を継続するのであれば、市役所は市の公益の中で、市民団体へ委託したい業務を開示し、その公益を市民団体へ委託した場合は、その分の経費、職員数などを減らすべきである。		
53	★趣味・同好会的な団体が多く見受けられる。本来のボランティア・NPO活動に価する団体を重視した支援になれば良いと思う。		

54	★もっと団体を厳選した方がよい。真に市民のための活動をしているか？(単なる趣味の団体、親睦団体がありませんか)検証していますか？ 収支報告も大切ですが、市民のためにどのような具体的活動をし、成果はどうだったかもつきちんと報告させるべきだと思います。1%制度発足時の趣旨が、不明朗になっているように思います。		
55	★会計報告において、会計基準を設け、1%対象と対象外を明確にして欲しい。		
56	★NPO法人や租税特別措置法の改正によって、NPO法人の環境は大きく変わりました。特に認定NPO法人についての条例指定団体や仮認定制度導入によって、多くの団体に認定への道が開かれています。1%支援制度もこれらの制度改革とリンクさせるなど、より市民への参加の道を促進すべきだと思います。		
57	★分野ごとに上限を設け、団体の基準を改善すべきである。(支援額及び事業提案件数実行度)		
58	★全国に先がけての素晴らしい制度だと思います。もっと利用している市民団体と一緒に市民の力を頼りながら、さらに使いやすい制度にして欲しいと思います。そのためには、市民の声を集めたり、市民に任せるところを作っていくと、経費も有効に使えそうです。		
59	★改める点があれば勿論改めることは大切です。但し、自己中心的な改善策は取り上げるべきではないと思います。市民の方々全体が税金について考えることが出来、市民活動も活性化できる内容のものならOKです。幅広く一般化すると、不便やちいさな矛盾はゼロにすることが難しいでしょうから。		
60	★友人達から老人会でも支援してボランティアにも(?)と疑問また宗教的(?)団体なのに、この間に答えられなかった。		
61	★活動する励みにもなり活動のPRも出来てよい制度だと思います。団体番号が毎年変わる事で番号認識がスタッフでもうまくいけません。PRする時も同じ番号であれば活動がしやすくなるように尾見ます。		
62	★制度としては良いが、市民活動の方向性を良く考えるべきだと思う。現在の分類でなく活動形態による分類で支援金の係数(1%)の差をつける方法である。商店会・宗教団体は排除すべきだ。		
63	★1%支援制度のお陰で私たちの団体もこれまで活動してこられました。いただきました支援金につき、かつどうの趣旨にそってある程度の裁量権を持たせていただければありがたいと思います。		
64	★一人暮らしの高齢者の見守り活動に対する支援と市として1%支援基金を活用して具体化して欲しい。		
65	★より良い制度に改善していった方が良くと思いますが、具体的には良くわかりません。		
66	★1%支援の中から毎年、積み立てをして、自由に使える会館や、利用できる施設を建てられる計画をしてはいかがでしょうか。私どもは毎年学校をお借りしてご迷惑をお掛けしていますので、切実に感じています。		
67	★お金が無いとやれない、という活動ではありません。なにか、だれかの役にたちたいと活動しています。活動の場を提供してもらえような支援が欲しいです。		
68	★支援に頼らないで、会費収入の範囲内で活動することが大切。		
69	★現状で充分である。この制度の継続をお願いします。		
70	★制度とは直接関係ないが、講演会や学習会など、1%支援事業を行うための会場の手配に苦勞している。市民会館や公民館などで50~100名規模の会場が少なく、予約が取りにくいので何とかならないでしょうか。		
71	★地域の人達、また他の方たちにも事業の具体的な説明もでき、協力をお願いするときに支援団体である事が重要な役割を果たしています。		
72	★ボランティアなので自費で活動することが多い。自己予算に対する補助率を上げていただくと助かります。		